

△産業宣教 新しい産業の始まり(使 18:1-4)	△レムナント伝道学 レムナントの新しい点検 (RT 7 人)	△核心/散らされた弟子たち 伝道者の新しい点検(マタ 16:16) 散らされた弟子たちの点検(イザ 6:13)
<p>今あることに感謝できてこそ、それから答えがきて、最高の祝福を受けたことが見える。</p> <p>□序論_今日の祈り(落胆することに会った時)</p> <p>1. 目に見える現実→霊的なことに変えてみるべき 御座のカー産業の中に結びつけること</p> <p>2. 創 3、6、11 の現場を変えるカー→<u>1</u>、<u>3</u>、<u>8</u>キリストは暗やみ砕くということであるため、選択と始まりを正しくすれば神の国が臨んで再創造の証人になる。</p> <p>3. 霊的なことを分かなければ不可能→この答えを持って簡単なこと 当然、必然、絶対→当然できなくなっていたのだな。それゆえ、私を呼ばれた。力がなくなることを知って絶対のことを見せられた</p> <p>4. <u>たましい</u>、創 1:27、2:7 私のだましいの中にいのちが回復して、主のいのちの息が入ってきてこそ生きる。 使 1:3、8 神の国、ただ聖霊が臨む。</p> <p>5. 御座(始まり、終わり、過程)、神の国が臨んで神の国のことが成就する。 いやし-サミットになる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 根本を回復する産業 1) 創 3:15 (エデンの園)の産業 2) 創 6:14 (箱舟産業) -生かす産業 3) 創 12:1-3 (世界福音化とつなげる) -私の基準ではなく、神様の基準として見るべき 創 11:1-8 世の中の人々は全く分からない。</p> <p>2. わざわいを止める産業 1) 奴隷(出 5:1-12:46) -エジプトのあらゆる分野に変化 2) 捕虜(ダニ 1:8-9、ハガ 2:1-9) -イザヤの契約を握ったダニエル、237 を揺り動かす神殿建築 3) 属国(ロマ 16:1-27) -ロマ 16 章の重職者産業人がついたので永遠の前に隠されておいたことを与えられた。 4) 流浪の民(使 17:1、18:4、19:8 会堂) -神様が準備された未来を見通した弟子訓練</p> <p>3. ただが見えて(唯一性、再創造になる)産業(産業人の新しい始まり) 1) 使 18:1-2 ただ福音を持った者ととの出会い 2) 使 18:3-4 伝道と産業が通じた。 3) 次世代(4 節)生かす側に心が通じた 4) ローマを生かす出会い 5) 世界を生かすこと</p> <p>△マルコの屋上の間で答えを受けたプリスカ夫婦、ダマスコでキリストの他にはすべてをみな下ろしたパウロ-ただという答え受ければ産業にただの祝福が来る。</p> <p>□結論_<u>ロマ 16:25-27</u>すでに来ている。 <u>目</u>、<u>目</u>、<u>目</u>が神様に向かうとき-エジプトに奇跡、6 日(エリコ陥落)、40 日(世界福音化の門) 答え(W10)について行けば良いから私の考えが必要ない。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 考え、心-脳 レムナントのとき、持っている考え、心は全部脳に入力</p> <p>2. みことば、祈り-たましい みことばと祈りを味わうようになればたましいの中に刻印</p> <p>3. 黙想-御座 黙想をするようになれば御座とつながる</p> <p>□本論_10 分タイム</p> <p>1. 霊的システム</p> <p>1) 創 41:38 困難の中にも揺れなかったヨセフは、未信者が見て分かった。</p> <p>2) 出 3:1-20 壊れて年も取ったとき、ホレブ山で、幼い時に母から聞いた霊的なことが回復した。このとき、神様はモーセに出エジプトを任せられる。</p> <p>3) I サム 3:19 とても幼いときに霊的システムを作った人もいる。「彼のことばを一つも地に落とされなかった」と言われた。</p> <p>4) I サム 16:13 (羊飼い)レムナントが「つまらない(暇だ)」ということばをよく言う。しかし、ダビデは羊飼いだったときに、すでにこれを味わい始めた。</p> <p>5) II 列 2:9-11 (分配) II 列王 2 章教役者、預言者のともがらはギルガル、ベテル、エリコ、このように決め始めた。しかし、エリシャはこういうもの必要なくて「II 列王 2:9-11」をくださいと言って、最後までエリヤに従っていった。エリヤはアハブ王が殺そうとしたが、エリシャは王が父と呼んだ。ものすごい差が生まれるのだ。</p> <p>6) イザ 6:1-13 (御座)イスラエルの国の滅亡と回復について預言するとき、神様が一番最初にイザヤに御座の力から体験するようにされた。</p> <p>7) II テモ 3:14-17 (確信)「このことを確信しなさい」とテモテに話した。レムナントは言い訳しても仕方なくて、確信しなければならぬ。</p> <p>2. 学業システム-ここで学業が出てくれば必ずこのようになる。 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造</p> <p>3. 文化システム-作品</p> <p>1) プラットフォーム-人々を生かすことができる、来るようにさせるプラットフォームになる。</p> <p>2) 見張り台-そのとき、人を生かす見張り台になる。</p> <p>3) アンテナ-その人たちを正しく神様と通じるようにさせるアンテナとなる。</p> <p>□結論 これがレムナントがそろえなければならず、必ずすべき点検だ。今から集中して、霊的システムを作って始めれば良い。</p>	<p>Trinity、御座、3 時代</p> <p>今この時間には何が起っているかを常に知っていなければならない。これがイエス様の最後の講壇だ。</p> <p>□序論_三つの点検</p> <p>1. 私を点検しなさい-できないこと、足りないこと、不可能なこと △事実通り認めて落胆してはならない。神様計画があるため</p> <p>2. 神様のことでこそできる。 <u>1、3、8、24、25、00、237、いやし、サミット</u></p> <p>△「ただ神様のことで、神様のみことばだけで、福音を伝えることによってだけ」残りは神様がされる。</p> <p>3. 実際に味わった人々だ。-創 6:14、創 13:18、出 3:18-20、I サム 3:1-19、詩 78:70-72</p> <p>□本論</p> <p>1. 定刻祈り(一人でいるとき-定刻礼拝) 1) マタ 16:13-20 2) マタ 17:1-9 キリストだけ 3) マタ 28:1-20 4) 1, 3, 8 握って祈り 5) 使 2:1-47 待ちなさい</p> <p>2. 常時祈り+ 24 祈り(教会に行ったとき、人に会ったとき) 1) 問題の中で無条件に答えを見つける 24 祈り 2) 三つの祭り、力、未来(礼拝のときに起こること) 3) 使 2:43-47 ずっと起こる働き。これが常時祈り</p> <p>3. 内なる人を見ること=現場を生かすこと(25 祈り) 1) 使 3:1-12 キリストが初めて宣言される時間だ。天地開闢 2) 使 6:7 なぜ祭司が集まって恵みを受けるのか。実際、個人的に死んでいたのだ。 3) 使 8:4-8 誰がサマリヤに行けるのか 4) 使 11:19 患難でなく世界へ行く機会だ。 5) 使 13:1-4、16:6-10、19:21 この人が世界福音化の門を開けたのだ。</p> <p>△この契約を持っていれば、神様がみなさんを通して世界を変えられる。</p> <p>□結論_「散らされた弟子たち」 「点検」(イザ 6:13) - 3 つ</p> <p>1. 聖書と神学(レムナント) -レムナントという単語を点検しなければならぬ。福音を伝えると立てられたのをレムナントと言う。 1) 奴隷、捕虜、属国、流浪の民、旅人、散らされた者-福音を伝えなから奴隷、捕虜、属国で送ったのだ。この中で福音を持った者が残りの者だ。聖書一つだけ詳しく見るべきだ。そのときからずっと持続する。初代教会、旅人、散らされた者(使 11:19)。これが同じ単語だ。 2) Remnant -捨てられた者、残りの者 (1) 根-キリスト (2) 切り株-既成世代 (3) 新しい芽-次世代</p> <p>2. 聖書と体験(御座) -みことばを体験しなければならない。それが御座の体験だ。</p> <p>3. 聖書と現場-聖書と現場で伝道を点検しなければならない。アメリカとヨーロッパ、先進国、3 団体が創 3 章、6 章、11 章と同じようにしている。 △イエスがなされた最後の二つ、12 弟子と 70 人使徒を立てなさい。</p>

△区域メッセージ CVDIP (契約の旅) と私の 24 (ロマ 16:25-27)	△聖日 1 部礼拝 わたしは、よみがえりです。いのちです (ヨハ 11:38-44)	△聖日 2 部礼拝/イエウオン教会献堂礼拝 唯一の福音、唯一の教会、唯一の答え (使 1:3-8)
<p>△CVDIP (契約の旅) と私の 24-25、00 聖書が話す夢は神様が与えられたビジョンを見たことであり、これも契約の中から出てきたことだ。イメージは創 1:27 神様が自らのこと、私たちとともにおられるその力で成し遂げられることだ。Practice は実践をして作品を作ることだ。これを契約の旅と言う。正しい旅ならば 24 となる。そして 25 が出てきて神の国という力で永遠を成し遂げる。すると、ロマ 16:27 「御栄えがとこしえまでありますように。」と言われた。</p> <p>□序論_流れ 1. みことばの流れ-ユダヤ人がこの流れを乗ることができず、メシヤが来られたが分からなかった。 2. 祈り-祈りを継続すれば流れが見えて、それに従って行くのだ。 3. 伝道-これからは、伝道方法も非対面だ。パウロとルターがこの方法で 14 書簡、聖書翻訳をした。</p> <p>□本論 1. Covenant (契約) -神様が私たちに与えられた絶対的な契約 1) 創 3:15 キリストがサタンの権威を打ちこわしたこと 2) 出 6:14 ネフィリム時代に箱舟を作ったこと 3) 創 12:1-3 バベルの塔時代。カルデヤから出なさい 4) 出 3:18 血のいけにえ (出エジプト) 5) イザ 7:14 その御名だけ呼べばインマヌエルになって暗やみの勢力は逃亡。 6) マタ 16:16 主は創 3:15 に預言されたキリスト 2. Vision (ビジョン) -このときから目が開かれるが、それをビジョンと言う 1) 12- 12 のサタンの戦略を見たこと 2) マタ 28:16-20 (あらゆる国の民) -すべての種族に行きなさい。マコ 16 章には「万民」に行きなさい。また「地の果て」まで行けとビジョンを与えられた。祈りが何か知っている人は行くことができる。 3. Dream 24 1) 24 だ。2) 3 つの今日ができるように祈ってみことばを握りなさい。 3) 62-一生の答え 4. Image 25 「25」に向かっていること。「25」は御座の力とロマ 16:25-27 に神様が隠されたこと 5. Practice 永遠-作品 私たちの祈りは永遠だ。それゆえ「神様が造られた私」「神様が私に与えられた私のこと」「神様がはっきりと送られた私の現場」の作品を作ることが目標だ。</p> <p>□結論_約束二つ 1. マタ 24:14 すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりがくる。 2. 使 1:8 私たちは証拠を見た者だ。神様の契約を握って、神様のこと成し遂げて行くこと</p>	<p>□序論 1. 本文の背景 △イエス様が気楽に休んで祈りができた所がラザロの家。彼が死ぬ病気になるが、二日間も遅れて行かれたイエス。結局、ラザロは死んで、葬られて三日が過ぎた 2. 無応答を答えだと考えない △問題を答えが来たときと見ることができる人。これがレムナント 7 人、ヘブ 11 章、初代教会の人々 3. キリストが誰なのかから分かるべき 1) 創造の前からおられた方-分かればすべての過去の運命、わざわざい関係なくなる 2) 受肉して見えるように来られた方-この契約を握ったことを信仰、受け入れ、救い。このとき、私の中に聖霊が働く 3) 死に勝って復活された方-今でも私たちとともに! イエスの御名によって求めて、権威を使うとき、暗やみ束縛 4) 終末が来るとき、再臨の主として!</p> <p>□本論_ラザロが死んだのに遅く現れられたイエス様の理由 1. 11、13 節 死んだのではなく眠っているのだ 1) 私たちのたましいは永遠 2) 私たちの祈りと伝道の働きは永遠-これを知っていたモーセは、主のしもべと子孫のために祈り (詩 90:16)。これを知っていたパウロは、死んだ後にローマにもっと大きい働き 3) みなさんの祈りは天国に録音されて (黙 8:3-5)、信仰生活すること、伝道するために動くことは、空の CCTV にみな入れられて一つも無駄にならないと言われた (1 コリ 15:58) 2. 最後の日、私たちが復活することの初穂となられたキリストなので、死んだのでなく眠っているのだ 1) あなたの兄弟はよみがえりますとおっしゃったイエス様 (ヨハ 11:22-23) 2) わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。 (ヨハ 11:25-26) 3) これは次世代と永遠に関係あるのに、私のいのちと救われたたましい、主の働きは永遠に死なないことを言われた 3. 実際に生かすことが起こった 1) あなたが信じれば神様の栄光を見る (ヨハ 11:40) 2) 回りにいる群衆のために (ヨハ 11:42) -多くの親戚、人々、全世界、2 千年が過ぎた私たちもラザロの事件を見ている。 3) ラザロよ、出てきなさい (ヨハ 11:43) -イエス・キリストは三位一体の神様、創造主。その御名で私の産業と現場に再創造の働き。このイエス様が、わたしの名によって万民に行きなさい。悪霊を追い出さなさいと言われた</p> <p>□結論 1. 復活信仰といのちの信仰を持って行きなさい。家系、教会、職場、レムナント、散らされたところ、みな生かしなさい 2. とりなしの祈りの力-マリヤとマルタの祈りが重要。イエスの命令一言で終わった。霊的な働きを信じるべき。</p>	<p>□序論_止めることができない人々 1. 福音が完全になくなった時代-モーセとそのチーム 2. 国が崩れたとき-ハンナとエッサイ、サムエル、ダビデ 3. 偶像国家になったとき-オバデヤ、エリヤ、エリシャ 4. 福音がなくなって捕虜になったとき-ダニエルと同僚、エステル 5. 初代教会の何の力もないように見える 120 人 6. 本当に福音を伝える牧師、イエウオン教会</p> <p>□本論_理由 1. 唯一の福音 1) 聖書にだけ出てきて今でも続く三つの事件 (1) エデンの園事件 (ニューエイジ) -神様を信じる必要がない。神のようになる (2) ネフィリム事件 (フリーメイソン)-ネフィリムを作ること、憑依運動 (3) バベルの塔事件 (3 団体、ユダヤ人) -神様に敵対してバベルの塔を築こう。 2) 福音が分からなくて滅びた王たち、強大国、イスラエル 3) 120 人が握って証明した福音-サタン、わざわざい、地獄に勝つキリストが必要だが、そのキリストが誰か。 2. 唯一の教会 1) サタンの最後の攻撃地は教会-ユダヤ教、パリサイ人、サンヘドリン最高議会 2) キリスト、神の国、ただ聖霊を握って話した初代教会-サタンが一番恐れる。その契約がカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の中で成し遂げられた。 3) タラッパン教会が回復する三つの庭 24-異邦人の庭 (237)、祈りの庭 (いやし)、子どもたちの庭 (RT、サミット) 24 △イスラエルが列を間違えて立って滅びたのだ。悪霊と聖霊は戦いにならない。当然、勝つ。 3. 唯一の答え-霊的精神病棟になった地球 1) 使 2:1 五旬節の日になって。三つの祭りの成就 2) 使 3:6 ナザレのイエスの名によって起きて歩きなさい。足なえは立っていること自体が証拠だ。 3) 使 4:12 本当にキリストの御名で祈ればどうなるのかを見なさい。 4) 使 8:4-8 歴史的に敵になっていたサマリヤに行ってキリストを宣べ伝えた。 5) 使 13、16、19 初めて宣教師を派遣して、医者が治せない霊的病気を治した。 6) 使 17、18、19 会堂、講堂、市場に入った。 7) 彼らを通して世界福音化の答えが来た。</p> <p>□結論_絶対不可能の中に私たちを呼ばれた理由、絶対不可能に挑戦しなさい。 1. その答えが三位一体の神様 2. 何の力がなくてもかまわない (Nobody)。御座の祝福でこそ世界福音化は可能だ。 3. 何も無い私たちを呼ばれた理由だ (Nothing)。3 時代を生かす力 (使 1:8) 「しかし聖霊があなたがたの上に臨まれるとき」 △この契約だけ握っていれば世界福音化される。神様が必ず、永遠に、いつもともにおられる。</p>